

教発第2581号

令和8年2月27日

甲府市小中学校PTA連合会
会長 相山 恭子 様
甲府市小中学校PTA連合会育み委員会
委員長 木川 絵美 様

甲府市教育委員会
教育長 松田 昌樹



学校給食・教育環境についての要望について（回答）

令和7年12月23日付け市P連発第7-58号で要望のありましたこのことについて、別添のとおり回答します。

以上
総務総室総務課扱い

【学校給食に関わる要望事項】**1 給食費の無償化・公費負担の推進（学事課）**

市におきましては、安全・安心でおいしい学校給食の提供に努めているところであり、学校給食を通じて、食の体験を深め、食事の重要性や楽しさを知るため、我が国や各地域の優れた伝統的な食文化に触れられるよう、全国の郷土食や世界各国の料理、「こうふ開府の日お楽しみ給食」をはじめとした行事食など、バラエティーに富んだ献立作成を行っております。

学校給食費については、令和8年4月から、国の支援事業の対象となる市立小学校に加え、市立中学校も、国に先んじて、完全無償化を実施するとともに、アレルギーや不登校等により給食を食べられない児童生徒や、市内に住所を有し私立小中学校等に在籍する児童生徒の保護者についても、本市がその無償化相当分を給付し、市内のすべての児童生徒の保護者を支援してまいります。

2 地元食材や旬の食材使用メニューの増加（学事課）

学校給食は、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、必要な栄養を摂取する手段であるばかりではなく、食の大切さを理解するといった食育の観点からも重要な教材としての役割を担っております。

本市におきましては、安全・安心で安定的な学校給食の実施のため、市場を通して食材を調達しており、低廉で良質な食材を使用しております。

こうした中、地産地消の取組として、トウモロコシやナスといった旬のものや、甲州みそ、梅ジャム、鳴沢菜、大塚人参、ニジマス、クリスタルポーク、富士桜ポーク、甲州ワインビーフといった地場農畜産物を使用するとともに、牛乳については年間を通じて県内産を提供し、お米については、山梨県産を5割使用しているところであります。

引き続き、現行の食材調達方式により学校給食を提供するとともに、地産地消に努める中で、行事食や郷土食など子どもたちが多様なメニューに触れ、豊かな味覚や食習慣を育むことができるおいしい学校給食の提供に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【教育環境に関わる要望事項】**1 体育館へのエアコン設置（教育施設課）**

体育館への空調設備の設置につきましては、関係部局と協議を行う中で、令和8年1月に「甲府市学校施設等体育館空調設備等整備基本方針」を策定したところであります。

今後は、国の補助や地方交付税措置などを活用する中で、令和8年度に中学校（11校）、令和9年度に小学校（13校）、令和10年度に小学校（12校）への空調設備設置を行い、空調設備を設置した翌年度には断熱改修工事を実施するなど、年次的に取り組んでいくとともに、各学校と連携し、より効果的で効率的な運用を図る中で、児童・生徒が安全で安心して学びに向き合える教育環境の確保に努めてまいります。

2 学校現場への人員（教職員・特別支援教育支援員・学習指導員・スクールサポートスタッフ・スクールカウンセラー・栄養教諭など）の増員（学校教育課）

市教育委員会では、必要性や状況に応じ、市単独雇用教員や特別支援教育支援員、さらに、近年は学習指導員やスクール・サポート・スタッフ及びスクールソーシャルワーカーを本市独自の財源で配置してきたところであり、今後におきましても、児童生徒へのきめ細かな教育の推進や教員の業務負担軽減等の観点から、各校の状況の実態を適切に把握する中で、適切な配置に努めてまいります。

また、スクールカウンセラーにつきましては、児童生徒や保護者の悩みに寄り添い、生徒指導上の諸問題の未然防止・早期発見・早期対応のために、山梨県教育委員会より全小中学校に配置されておりますが、悩みを持つ児童生徒および保護者は依然多い状態であり、スクールカウンセラーが勤務時間を超過してしまうなどの状況が続いておりますことから、県費負担教職員や栄養教諭の増員も含め、学校配置スクールカウンセラーの配置日数・時間の更なる増加を山梨県教育委員会へ強く働きかけてまいります。